

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成24年10月11日(2012.10.11)

【公表番号】特表2008-542455(P2008-542455A)

【公表日】平成20年11月27日(2008.11.27)

【年通号数】公開・登録公報2008-047

【出願番号】特願2008-512725(P2008-512725)

【国際特許分類】

C 08 L 9/00 (2006.01)

C 08 K 3/00 (2006.01)

C 08 K 5/544 (2006.01)

B 60 C 1/00 (2006.01)

【F I】

C 08 L 9/00

C 08 K 3/00

C 08 K 5/544

B 60 C 1/00 A

【誤訳訂正書】

【提出日】平成24年8月27日(2012.8.27)

【誤訳訂正1】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】全文

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

少なくとも1種のイソプレンエラストマー、補強用充填剤としての無機充填剤、および前記補強用無機充填剤と前記イソプレンエラストマー間の結合をもたらす多官能性オルガノシロキサンカップリング剤をベースとするゴム組成物を含むタイヤであって、前記無機充填剤が、シリカ、アルミナ、水酸化(酸化)アルミニウム、アルミノシリケート、酸化チタン、炭化又は窒化ケイ素から選択され、前記オルガノシロキサンが、分子当たり、そのケイ素原子にグラフトさせた、一方で前記補強用無機充填剤にグラフトさせ得る少なくとも1個のヒドロキシルまたは加水分解性官能基と、他方で前記イソプレンエラストマーにグラフトさせ得る少なくとも1個のアゾジカルボニル官能基-CO-N=N-CO-を担持する少なくとも1個の基とを含むことを特徴とする前記タイヤ。

【請求項2】

オルガノシロキサンが、同一または異なる下記の平均式を有するシロキシル単位からなる、請求項1記載のタイヤ：

$G^3_c G^2_b G^1_a SiO_{(4-a-b-c)/2}$  (1)

(式中、a、bおよびcは、各々、0~3の整数または分数であり；

$G^1$ 基は、複数個が存在する場合は同一または異なるものであって、一価の炭化水素基を示し；

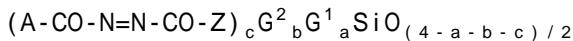
$G^2$ 基は、複数個が存在する場合は同一または異なるものであって、ヒドロキシルまたは加水分解性基を示し；

$G^3$ 基は、複数個が存在する場合は同一または異なるものであって、アゾジカルボニル官能基(-CO-N=N-CO-)を担持する基を示す；

但し、 $0 < (a+b+c) \leq 3$ であり；少なくとも1個の $G^2$ 基(即ち、b=1)および少なくとも1個の $G^3$ 基(即ち、c=1)が前記シロキサン分子内に存在することを条件とする)。

## 【請求項3】

前記オルガノシロキサンが、同一または異なる下記の平均式(III)を有するシロキシリ  
単位からなる、請求項2記載のタイヤ：



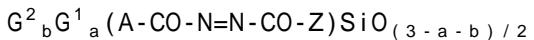
(式中、Zは、前記アゾジカルボニル官能基を前記オルガノシロキサンのケイ素原子に連  
結する二価の結合基であり；

Aは、一価の炭化水素基または式Z'の基を示し；Z'は、Zと同一または異なるものであつ  
て、前記アゾジカルボニル官能基を前記オルガノシロキサンのケイ素原子(Zに結合してい  
るSi原子と同一または異なる)に結合させ得る二価の結合基であり；

A、Zおよび該当する場合のZ'は、個々に、1個以上のヘテロ原子を含み得る)。

## 【請求項4】

前記オルガノシロキサンが、同一または異なる下記の平均式(V)を有するシロキシリ  
単位からなる、請求項3記載のタイヤ：



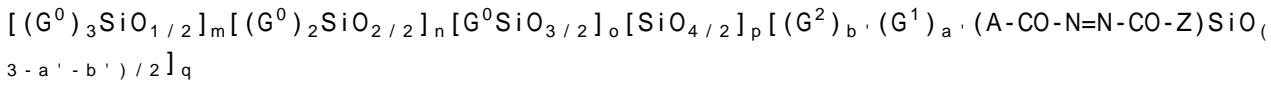
(式中、aは、0～2の整数または分数であり；

bは、1～2の整数または分数であり；

(a+b) 2である)。

## 【請求項5】

前記オルガノシロキサンが、下記の式(VII)に相応する、請求項4記載のタイヤ：



(式中、a'は、0、1および2から選ばれた整数であり；

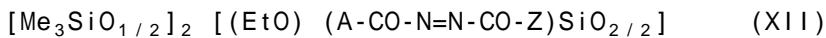
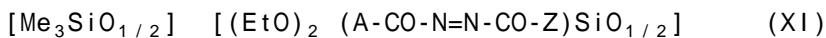
b'は、0、1および2から選ばれた整数であり；

和a'+b'は、b' = 0の場合符号G<sup>0</sup>の少なくとも1個がG<sup>2</sup>の定義に相応することを条件と  
して、0～2に及ぶ範囲内にあり；そして、符号m、n、oまたはpのいずれか少なくとも1つ  
は0(ゼロ)以外の整数または分数であり、qは1に等しいまたは1よりも大きい整数または  
分数を示し；或いは、qは1よりも大きく、その場合、符号m、n、oまたはpの各々は任意の値  
を有し；

符号G<sup>0</sup>は、同一または異なるものであつて、各々、G<sup>2</sup>またはG<sup>1</sup>に相応する基の1つを示  
す)。

## 【請求項6】

前記オルガノシロキサンが、下記の式(XI)および(XII) (Et = エチル)の少なくとも1  
つに相応する、請求項5記載のタイヤ：



## 【請求項7】

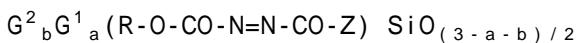
G<sup>1</sup>基が、互いに同一または異なるものであつて、C<sub>1</sub>～C<sub>6</sub>アルキル基、シクロヘキシリ  
およびフェニル基からなる群から選ばれ；G<sup>2</sup>基が、互いに同一または異なるものであつ  
て、ヒドロキシリル基、C<sub>1</sub>～C<sub>8</sub>アルコキシリル基およびC<sub>5</sub>～C<sub>8</sub>シクロアルコキシリル基からなる群  
から選ばれる、請求項1記載のタイヤ。

## 【請求項8】

基G<sup>1</sup>が、メチルおよびエチルから選ばれ；基G<sup>2</sup>が、ヒドロキシリル、メトキシリルおよびエ  
トキシリルから選ばれる、請求項7記載のタイヤ。

## 【請求項9】

前記オルガノシロキサンが、同一または異なる下記の平均式(VIII)を有するシロキシリ  
単位からなる、請求項1記載のタイヤ：

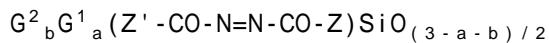


(式中、a、b、Z、G<sup>1</sup>およびG<sup>2</sup>は、前記で示した定義を有し；

Rは、C<sub>1</sub>～C<sub>4</sub>アルキルを示す)。

## 【請求項10】

前記オルガノシロキサンが、同一または異なる下記の平均式(IX)を有するシロキシル単位からなる、請求項1記載のタイヤ：



【請求項11】

$G^1$ が、メチルまたはエチル基であり； $G^2$ が、ヒドロキシル、メトキシルまたはエトキシル基であり； $Z$ (および、該当する場合の $Z'$ )が、1～18個の炭素原子を含む二価の炭化水素基を示す、請求項2記載のタイヤ。

【請求項12】

ゴム組成物がタイヤのトレッド中に存在する、請求項1記載のタイヤ。

【誤訳訂正2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0031

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0031】

表1

組成物番号：	C-1	C-2
NR (1)	100	100
シリカ (2)	50	50
カーボンブラック (3)	4	4
カップリング剤 (4)	4	—
カップリング剤 (5)	—	5.5
ZnO	3	3
酸化防止剤 (6)	1.9	1.9
ステアリン酸	2.5	2.5
イオウ	1.5	1.5
促進剤 (7)	1.8	1.8

(1) 素練り天然ゴムNR；

(2) Rhodia社からのマイクロビーズ形の“Zeosil 1165 MP”シリカ (BETおよびCTAB：約150～160m<sup>2</sup>/g)；

(3) カーボンブラックN330 (Degussa社)；

(4) TESPT (“Si69”、Degussa社)；

(5) アゾシラン(項III-1で合成)；

(6) N-1,3-ジメチルブチル-N-フェニル-パラ-フェニレンジアミン (Flexsys社からの“Santoflex 6-PPD”)；

(7) N-シクロヘキシリ-2-ベンゾチアゾールスルフェンアミド (Flexsys社からの“Santocure CBS”)。

【誤訳訂正3】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0032

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0032】

表2

組成物番号 :	C-1	C-2
硬化前の特性 :		
Ti (分)	7. 9	10. 6
T <sub>99</sub> - Ti (分)	17. 6	9. 9
K (分 <sup>-1</sup> )	0. 261	0. 467
硬化後の特性 :		
M10 (MPa)	5. 11	5. 41
M100 (MPa)	1. 84	2. 49
M300 (MPa)	1. 81	3. 73
M300/M100	0. 99	1. 50
tan ( δ ) <sub>max</sub>	0. 147	0. 105
ΔG*	1. 97	1. 29
破壊応力 (MPa)	20	19
破壊時伸び (%)	720	530